

## 教会の弟子訓練 マタイの福音書 28:16-20

健全な教会とは何か、それを教会の規則にどのように反映させるかについての説教を続けていますが、今日の説教は弟子訓練についてです。今日の説教は、来週の伝道についての説教と深く関わっていますが、この二つを別々の説教で取り上げる必要があるほど、違いがあり重要なものだと思います。ですが、伝道が目指す究極のところは弟子訓練であり、弟子となることなしに真の意味でキリストに従う者とはなり得ませんから、この二つは切り離せないものです。今日の学びの中心となる聖書箇所はマタイの福音書 28:16-20 です。イエスは地上でのミニストリーを終えられました。3年に渡り教え、説教し、特にご自分と共にいた12人の弟子を訓練されました。そのうちの一人であったユダはイエスを裏切り、彼を死に追いやりました。けれど私たちは、イエスがこの世に来られたそもそもの目的は、十字架の死に進んで向かわれることであったことを知っています。もちろんイエスは死んだままではありませんでした。キリストに従うすべての人に救いを与えるため、死に打ち勝ち、蘇られました。それから、使徒の働きによれば、キリストは弟子やその他の者たちと再び40日間過ごされました。40日間の終わりに、キリストは最後にもう一度残りの11人の使徒を集め、大宣教命令と私たちが呼んでいる命令を彼らに与えました。通常私たちは、この大宣教命令を伝道と言う観点で考えますし、もちろん伝道の命令であります。ですが、よくよくこの命令を見ると、少なくともこのマタイによる福音書において、福音の良い知らせを伝える事だけが宣教命令なのではなく、福音の良い知らせを伝えることで達成されること、つまり弟子をつくることこそが宣教命令なのです。

では、このマタイの福音書 28:16-20 を読んで、弟子を作るとはどのようなことなのかについてお話ししましょう。「16 さて、十一人の弟子たちはガリラヤに行き、イエスが指示された山に登った。17 そしてイエスに会って礼拝した。ただし、疑う者たちもいた。18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。19 ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、20 わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」」弟子訓練について第一に理解したいことは、イエスがこの中心であるということです。弟子を作ること、弟子となることは、イエスに関わることです。教会のプログラムや牧師、執事、日曜学校の先生といった肩書に関わることはありません。始めから終わりまで、イエス・キリストに関わることです。

私たちへの弟子訓練の呼びかけは、弟子訓練とはどのようなものかの手本を見せることから始まります。聖書が「弟子」と呼んでいる人たちから、それを簡単に定義するなら、弟子とはキリストに従うことです。16節には「人々を弟子としなさい」と命じられた最初の人々が誰であったかが記されています。それはそれまでの3年間、イエスに従ってユダの田舎を回っていた11人の男たちでした。彼らはイエスに従うため、仕事も、恐らく家族も、故郷も捨てました。きっと何百もの奇跡を目撃しました。山上の説教と同じようなメッセージをイエスが説くのを、何百回も聞いていたことでしょう。イエスが教えていることがいつも理解できるわけではなかったので、繰り返し質問をしました。イエスは忍耐強く、一度と言わず時には繰り返し神の御国と神の道について語られました。共に食べ、共に眠り、共に祈り、イエスが祈っている間に居眠りすることもありました。いのちを失うかと思えるような嵐に巻き込まれ、主であるイエスが、風や波に静まるよう命じたのを見ました。イエスがパンを裂かれ、ぶどう酒を飲まれた二階の部屋に行き、パンとぶどう酒が24時間後に自分たちのために死なれるご自分の体を表していると告げられるのを聞きました。その後、イエスが捕らえられたので、彼らは散り散りに逃げましたが、後にゴルゴタの丘までついて行き、少なくとも何人かはイエスの手足が十字架に釘打たれ、世に向かって「完了した」と宣言して死なれるのを見ました。もちろん、それで終わりではありませんでした。なぜなら三日後、キリストの死を悲しんでいた彼らに、イエスの体がなくなったという知らせが入り、じきに復活されたイエス・キリストが彼ら

の元に再び現れて下さいました。そして、おそらくオリーブ山で、最後にもう一度弟子たちに会われました。彼らは本当の弟子たちでした。イエスをよく知っていました。

ここで、17節でこの弟子たちがとった二つの行動に注目してください。「**17 そしてイエスに会って礼拝した。ただし、疑う者たちもいた。**」一つ目は、イエスを礼拝したこと。それはイエスの弟子であるからゆえのことです。私たちはイエスがどのような方かを知っていますからイエスを真に礼拝します。その力を知っています。その愛を知っています。その憐れみを知っています。真に弟子であるということは、ただイエスについて知っているということではありません。ただイエスについての歌を歌うことでも、イエスが完全に人であり完全に神であるといったような、その存在についての教義上の真理を口だけで語ることでもありません。弟子たちと同じようにキリストを知ることです。そのようにキリストを知ると、キリストを礼拝せずにはいられなくなります。ですが、彼らがしたことはそれだけではなかったことに目を向けて下さい。真にキリストを礼拝している使徒の中には、疑う者もいました。彼らは全てを見ていました。キリストの復活を経験し、その時共にキリストと共にありながら、信仰に疑いがまだ混じっていました。彼らが真の弟子であることに疑う余地はありません。他の者たちと共に礼拝しながらも、弟子であるということは決して完ぺきであることを意味しないのです。キリストに最も近かった弟子であっても、疑念を抱くことがあるのです。

ですから、弟子を作ると言うことは、すべてキリストに関わることであり、私たち自身の力や権威によってなすものではないということです。18節を見て下さい。イエスは語り始め、こう言われています。「**わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。**」イエスが、「弟子としなさい」という大宣教命令を与えられる前に、このように言われたということはとても重要です。19節から始めて、その命令を見て、従うのは簡単ですが、その場合自分の力で行おうとしてしまいます。その結果、私たちの弟子にすることはできたとしても、キリストの弟子ではありません。キリストが弟子を作るための力なのです。もし18節を見て、弟子を作るのはキリストの権威とキリストの力であり、私たち自身の力ではないことを知ることが出来なかったなら、人々を弟子にせよというこの命令は度々とても憂鬱なものとなるでしょう。この真理には大きな力と慰めと励ましがあります。それはイエスが宣教初期の大半をこの弟子たちのために費やして、キリストのメッセージを分かち合うほとんどの人から拒絶されるだろうと語っておられたからです。ヨハネの福音書 15:18-21 の中で、イエスはこのように言っています。「18 世があなたがたを憎むなら、あなたがたよりも先にわたしを憎んだことを覚えておきなさい。…人々がわたしを迫害したのであれば、あなたがたも迫害します。彼らがわたしのことばを守ったのであれば、あなたがたのことばも守ります。21 しかし彼らは、これらのことをすべて、わたしの名のゆえにあなたがたに対して行います。わたしを遣わされた方を知らないからです。」そしてマタイの福音書 7:13-14 ではこのように言っています。「13 狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広く、そこから入って行く者が多いのです。14 いのちに至る門はなんと狭く、その道もなんと細いことでしょう。そして、それを見出す者はわずかです。」実際、イエス・キリストの弟子となる人はほんのわずかです。来週、この事について宣教と伝道という別の視点からお話する予定です。伝道の方法として、私たちはVBSのような活動をし、そのために祈り、準備しますが、私たちが望むほどキリストの元にくる家族を見ることはそうないかも知れません。福音を伝え、友達や配偶者、息子や娘にキリストをシェアし、それらの人たちがキリストを受け入れ、従い、弟子となる事を祈ります。弟子作りは難しいからと落胆し、諦めてしまうことは簡単です。罪に苦しんでいるクリスチャンを見て、落胆してしまうことは簡単ですし、キリストの似姿になるどころか、私たちがどんなにその人たちを助け、祈ろうとしても、何も変わらないように思える。そんな人たちを諦めてしまいたくなるかも知れません。ですが、キリストが弟子を作る力であるという真理に立ち返ることで、私たちが望むような結果が得られない時にも希望を見出すことができます。

そこには、私たちにはキリストが必要であるというもう一つの真理があります。既に、弟子訓練とは人生の全てにおいて「キリストに従うこと」とであると定義しました。ですから、弟子訓練とはこれをやれば弟子になれると言ったプログラムやハウツー本や一連のクラスではありません。私たちの主に対する知識と愛と奉仕において成長する人生なのです。ですから、私たちは自分の力ではどうしようもなく、キリストが必要なのです。クリスチャンに私たちが思うような成長が見られない時、それに対する答えは他のミニストリーやプログラムではなく祈りです。キリストこそが弟子づくりの力なのですから、福音を伝えたり、キリストの道を教えたりする人たちが、私たちではなくキリストによって変えられるよう、祈りを持ってキリストに寄り頼まなくてはなりません。このことは私たちがクリスチャンとして成すように召されている他のことでも何ら変わりありません。全てはイエス・キリストを通してでしか真に成すことができないのです。私たちが行すべき神の御心の全てを成すとき、キリストが私たちの権威であり、また私たちの力でもあります。ですからピリピ人への手紙 4:13 に「私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。」とあるのです。そのお方とはイエス・キリストです。皆さん、福音とはキリストの恵みのみに基づいてキリストのもとに来て、あとは自分の力でキリストを喜ばせるようにというメッセージではありません。福音とは、私たちはイエス・キリストの犠牲によって与えられた恵み無くしては、自分を救うことも神を喜ばせることもできないのだということです。その中には弟子を作りなさいという命令も含まれます。

最初の弟子たちと、弟子作りのための力に私たちの目を向けさせた後に、イエスはついにそこに目を向けられます。私たちは弟子を作る者であるべきだとイエスは言われます。19 節で「**ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。**」とされています。これは来週の説教に繋がっています。私たちに与えられた使命はキリストに改宗させることでも、祈りを唱えさせることでもありません。私たちの召し、私たちの使命、大宣教命令は弟子を作ることです。福音と多々混同される、誤った考え方が二つあります。一つは宗教、もう一つは無宗教、あるいは神学用語を用いるならば律法主義と無律法主義です。宗教や律法主義はイエスを信じて、この規則、あの規則を守り、あれやこれをするようにと言います。イエス・キリストを通して与えられる神の恵みではなく、聖さを保つために自分自身の能力に頼ります。それは福音ではありませんし、人々がそうすることを助けるために私たちが召されたのでもありません。単に道徳的な人間を作る訳ではないのです。事実、福音無しには聖さも真の道徳感も望むことはできないのです。私たちは自分の罪の現実に完全に捕らわれていて、真に義を行うことも神に栄光を帰すこともできません。弟子作りについて二つ目の誤った考えは無宗教、無律法主義です。これは、ただキリストを受け入れて下さい。そうすれば何も変える必要はありませんというものです。救われて天国に行くのだから、好きなことをして好きなように生きることができる。これもまた福音ではなく、弟子を作ることでもありません。キリストに従う者、キリストの弟子となるためには、ルール・リストを見せるのでも、単に地獄を逃れたカードを見せるのでもありません。私たちは聖なる神に対して責任を負う被造物でありながら、自分の罪によって神から離されているという真理を人々に示すのです。そして、創造主と和解する唯一の道は、イエス・キリストの死と復活を通してであり、その犠牲によって私たちの罪の罰の代価が支払われたのです。ローマ人への手紙 5:10 にはこのことについてこのように書かれています。「10 敵であった私たちが、御子の死によって神と和解させていただいたのなら、和解させていただいた私たちが、御子のいのちによって救われるのは、なおいっそう確かなことです。」私たちは規則によって救われるのでも、罪深く気ままに生きられるように救われるのでもありません。この世での残りの人生をイエス・キリストに従う弟子として歩むために、イエス・キリストによって救われたのです。

誰が本当の弟子かをどのように知ることができるのでしょうか。キリストに真に従うことから得られる実を見ます。弟子として、従う者としての第一歩は、キリストに従いバプテスマを受けることです。ですから、19 節には「**父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け**」とあります。バプテスマがあなたを救う訳ではありません。ですが、あなたが弟子であること、

イエス・キリストを主であり救い主として受け入れることによって自分の人生をイエス・キリストに委ねていることを示します。そうすることによって神の救いの招きに応え、弟子となったのです。この二つは切り離すことができません。そして、それだからこそキリストに従っていることを示すためにバプテスマを受けるべきなのです。

では人はどのようにそこへ到達できるのでしょうか。弟子を作るための力と権威はキリストにあるということを既に指摘しましたが、キリストは私たちに弟子を作るために行くようにと命じられました。人々がキリストに従い、バプテスマを受けるのを見ることで、弟子となったことを知ることができます。ですが、実際にそれをどのようにやるのでしょうか。20節は「**わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。**」と言っています。もし大宣教命令を、福音を伝え、神の恵みによって人々がそれに応じてバプテスマを受けるのを見ることだと考えるなら、私たちは人々がバプテスマを受けた時点で自分たちの任務を達成したとすることができます。ですが、それは命じられていることとは違います。私たちは弟子を作るように命じられていて、バプテスマはその過程において弟子の心を示す重要なステップではありますが、弟子訓練の終着点ではなく始まりに過ぎません。弟子訓練は継続的なプロセスです。弟子たちは3年間イエスの教えの下にありました。イエスの教えは、弟子たちがイエスをより深く知るにつれ、彼らが理解するようになった福音を自分たちの生活に適用する助けとなりました。それこそが弟子訓練です。私たちが信仰によりイエス・キリストに応答すると、真の信仰はイエスをもっともっと知りたいという思いにつながります。み言葉の学びと教えを通してイエスを知ることによって時間を費やせば費やすほど、神の子としての私たちの人生は兄であるイエス・キリストに似たものとされてきます。教会の全てが毎週、人々がそうなるよう助けとなるものであるべきです。イエスに似た者となる事、よりキリストの似姿に近づくこと、イエスをもっと知ること、イエスにもっと近づくことをです。ですからサンデースクールがあり、教会規則と教会員規約にもそれを結び付けています。出席すること、参加することが重要である意味のある教会員制度を設けています。なぜなら、キリストの似姿へと成長するために、キリストの体にあって互いに励まし合う中で神が働かれることを知っているからです。神の栄光のため、私たちはすべてを神のみ言葉に基づいて行います。それは、神のみ言葉を通してのみ私たちがイエスをより深く知るようになり、イエス・キリストの弟子として生きる人生を通して真に神を礼拝するようになるからです。弟子を作ることは私たち一人一人に与えられた働きです。弟子として成長し、他の人々が弟子として成長するのを助けることは、長老だけの働きでも、執事の働きでも、サンデースクールの先生の働きでもなく、すべてのクリスチャンの責任です。粗野な漁師や、取税人、政治的な反逆者である可能性さえあった11人の人生が、福音のメッセージによって劇的に変えられたのは、彼らがイエス・キリストの弟子であったからです。あなたは弟子として成長しているのでしょうか。日常的に神のみ言葉に触れているのでしょうか。私たちの教会が提供しているバイブルスタディクラスの一つが、あなたが神のみ言葉を理解し、適用するのを助け、それゆえキリストをより深く知る助けとなるかも知れません。他の人を弟子としているのでしょうか。イエス・キリストの福音を伝え、神のみ言葉を通してキリストをより良く知ることができるよう励まし助けているのでしょうか。その過程で落胆してしまうことがあってはなりません。キリストが聖霊を通して私たちを変える働きの権威と力です。そしてそのキリストが最後に弟子たち、そして私たちに「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」と約束してください。1世紀に、11人の男たちを通してキリストは弟子を作られました。そして今、YIBCの弟子たちを通して弟子を作られています。私たちはがその命令に従い、弟子作りに励むことができますように。祈りましょう。

## Discipleship of the Church Matthew 28:16-20

Today's message in our series on what it means to be a healthy church and how we put that in our governing documents is on Discipleship, making disciples. This sermon is very much connected with next week's message on Evangelism, but I do think they each are important enough and distinct enough to rate two separate sermons. But the ultimate goal of Evangelism is Discipleship, and you cannot truly be a follower of Christ without being a disciple, so they are inseparably connected. Our core passage of study today is Matthew 28:16-20. Jesus has finished his ministry on earth. He spent three years teaching and preaching and specifically training 12 men, disciples who went with him throughout his journeys. One of them, Judas, betrayed him, and sent him to his death. Although, we know that Jesus went willingly to this death on the cross that was the focal point of his coming to earth in the first place. But of course, he did not stay dead. He rose from the dead, conquering death, in order to provide salvation for all who follow Christ. Then the book of Acts tells us that he spent 40 days again with these disciples as well as others. At the end of those 40 days, he gathered these remaining 11 disciples together one last time and gave them what we call the Great Commission. Normally, we think of this Great Commission in terms of evangelism...and it is about that. But when we really look at it, it is not just about sharing the good news of the gospel, at least not here in Matthew, but in what sharing the good news of the gospel will accomplish, which is the making of disciples.

So, let's read this passage from **Matthew 28:16-20** and then talk about what it means to "make disciples." **16 Now the eleven disciples went to Galilee, to the mountain to which Jesus had directed them. 17 And when they saw him they worshiped him, but some doubted. 18 And Jesus came and said to them, "All authority in heaven and on earth has been given to me. 19 Go therefore and make disciples of all nations, baptizing them in the name of the Father and of the Son and of the Holy Spirit, 20 teaching them to observe all that I have commanded you. And behold, I am with you always, to the end of the age."** The primary message I want us to get regarding discipleship is that Jesus is central. Making disciples and being a disciple is about Jesus. It's not about church programs or titles such as Pastor or Deacon or Sunday School teacher. **It is about Jesus Christ from beginning to end.**

Our call to discipleship starts with an example of what discipleship looks like. To provide a simple definition based on those that the Bible calls, "disciples," **discipleship is following Christ.** Verse 16 tells us who the first people were to receive this command to "make disciples." They were the 11 men who had spent the last 3 years following Jesus around the Judean countryside. They had left jobs, perhaps family, and hometowns in order to follow Jesus. They had witnessed perhaps hundreds of miracles. They had likely heard him preach similar messages to the Sermon on the Mount hundreds of times. They had asked him question after question because they didn't always understand what he was teaching, and Jesus patiently explained to them usually more than once, the ways of God and the kingdom of God to them. They ate together, slept together, prayed together, and fell asleep while he prayed. They were caught in storms where they thought they would lose their lives, and watched their master, Jesus, tell the winds and waves to stop and be calm. They followed him to an upper room, where he broke some bread and drank some wine with them and told them that these elements represented the death he would die for them not 24 hours later. They all then ran away from him as he was arrested, but later it seems followed him to Golgotha's hill, where at least some of them saw Jesus have nails driven into his hands and feet and raised up on a cross and declare to them and to the world, "It is finished," and die. Of course, that wasn't the

end, because 3 days later as they were grieving his death, word came he was missing and eventually, the risen Jesus Christ saw each of them again. Now, he is asking them to meet with him for one last time at what many believe to be the Mount of Olives. These men are truly disciples. They know Jesus well.

And I want you to notice in verse 17 what two things these disciples do. **17 And when they saw him they worshiped him, but some doubted.** So, one, they worshipped Jesus. This is what comes of being a disciple. We truly worship Jesus, because we know who he is. We know his power. We know his love. We know his compassion. Truly being a disciple is not just knowing about Jesus. It's not just singing songs about Jesus or being able to spout off doctrinal truth about his existence like he is fully human and fully God. But it is actually knowing him like the disciples did. And when we know him in that way, we will not be able to help but to worship him. But, notice that wasn't all that they did. Some of these disciples who were truly worshipping him, were also doubting. They had seen it all. They had now experienced Christ's resurrection and were with him in that moment, and still mixed with faith, there was doubt. There is no doubt these were true disciples. They were worshipping along with the others, but clearly to be a disciple never means perfection. The closest followers of Christ will still experience times of doubt.

So, it's a good thing that this business of making disciples is all about Christ, and it is not done by our own power or authority. Look at verse 18. Jesus begins talking and says, **"All authority in heaven and on earth has been given to me."** It's so important that Jesus says this before giving what we call the great commission telling us to **"make disciples."** It's so easy to begin at verse 19, and see the mission and take that on, but do it in our own strength. That may result in making disciples of us, but not disciples of Christ. **Christ is the power for making disciples!** This mission call to make disciples would be overwhelmingly depressing many times if we could not look at verse 18 and know that it is Christ's authority and Christ's power that forms a disciple and not our own. There is great strength and comfort and courage in this truth, because Jesus has spent much of his early ministry telling these disciples that they will be rejected by most people they share the message of Christ with. In [John 15:18-21](#), Jesus says in part, [18 "If the world hates you, know that it has hated me before it hated you. ... \(V.19\) If they persecuted me, they will also persecute you. If they kept my word, they will also keep yours. 21 But all these things they will do to you on account of my name, because they do not know him who sent me. And in \[Matthew 7:13-14\]\(#\), he says, 13 "Enter by the narrow gate. For the gate is wide and the way is easy that leads to destruction, and those who enter by it are many. 14 For the gate is narrow and the way is hard that leads to life, and those who find it are few.](#) Few will actually become disciples of Jesus Christ. Next week we will talk about this idea from a different perspective of missions and evangelism. As a way of evangelism, we will hold activities like VBS and pray over it and prepare for it, and maybe we do not see families come to Christ like we want. Perhaps we share the gospel, we share Christ with our friend or our spouse or our son or our daughter again praying that they will accept and follow Christ and become a disciple, and it doesn't happen at that time. It's easy to get discouraged by that to even give up because making disciples is hard. It's easy to get discouraged when we see a Christian who struggles with sin and instead of being more like Christ even though we try to help them and pray with them and for them, it seems like they never change. We may be tempted to just give up on them. But coming back to this truth, that **Christ is the power for making disciples**, we find hope when we don't see the outcome we desire.

But there is another truth in this, that **we need Christ**. We have already defined discipleship as “following Christ” in all areas of our life. Therefore, discipleship is not a program or a book or a set of classes that if we do these, then we become a disciple. It is a lifetime of growing in our knowledge and love and service to our Lord. So, we can't do this on our own, we need Christ! When we don't see the growth in the Christians that we want to see, the answer is not another ministry or program, it is prayer. Christ is the power in disciple-making, so we must turn to him in prayer that he will change lives through our efforts and that those we are trying to reach with the gospel or teach in the ways of Christ will be changed by him...not us. This is no different than anything else we are called to do as Christians. Everything we do, we can only truly do through Jesus Christ. He is our authority for doing everything that is his will that we do, and he is our strength for doing that. So, [Philippians 4:13 says, I can do all things through HIM who strengthens me](#). That him is Jesus Christ. Folks the gospel is not a message of come to Christ only based on his grace, but then work through your own strength to please him. The gospel is that that we are incapable of doing anything to save ourselves or please God apart from the grace given to us through the sacrifice of Jesus Christ. And that includes this command to make disciples!

And that is where Jesus does finally turn his attention after drawing our attention to the original disciples, and the strength for making disciples. He tells us that we are supposed to be disciple makers. He says in verse 19, [Go therefore and make disciples of all nations...](#) This ties in directly with Missions that we will talk about next week. Our call is not to make converts to Christ or to get people to say a prayer. Our call, our mission, the great commission is to **make disciples**. There are two false ideas that many times get confused for the gospel. One is religion, the other is irreligion or legalism and antinomianism, to use theological terms. Religion or legalism says believe in Jesus then follow this rule, and this rule...do this and this and this. It turns into relying on our own ability to maintain holiness rather than God's grace extended to us through Jesus Christ. That is not the gospel, and it is not what we are called to help people do. We are not simply trying to make moral people. In fact, without the gospel, there is no hope of holiness or true morality any way. We are completely trapped in the reality of our sin, with no ability to truly do good and glorify God. The second false way to make disciples is irreligion or antinomianism. This says that we just want you to accept Christ and then nothing has to change. You can do or live however you want, because you are saved and on your way to Heaven. This also is not the gospel, and this also does not produce disciples. To become a follower of Christ, a disciple of Christ, we are not presenting a list of rules or simply an escape card from hell. We are pointing people to see the truth that we are created beings responsible to a holy God, but are separated from him by our sin. And the only way to be reconciled to our Creator is through the death and resurrection of Jesus Christ, whose sacrifice paid the penalty for our sin. [Romans 5:10 tells us this 10 For if while we were enemies we were reconciled to God by the death of his Son, much more, now that we are reconciled, shall we be saved by his life](#). We are not saved by rules and we are not saved to sinful indulgence. We are saved through Jesus Christ into a life of discipleship of following him for the rest of our lives here on earth.

How are we supposed to know if someone is truly becoming a disciple? We see the fruit of truly following Christ. The first step of that obedience of being a disciple and follower is to obey him in the act of being baptized. So, verse 19 continues, [baptizing them in the name of the Father and of the Son and of the Holy Spirit...](#) Baptism doesn't save you. But it does show that you are committed to being a disciple, to being one who has in

your heart already committed your life to Jesus Christ by accepting him as your Lord and Savior. By doing that you have answered God's call to salvation and therefore discipleship, because the two are inseparably connected. And when that happens then you should be baptized to show that you are following Christ.

But how will anyone get to that point? We already pointed out that Christ is the power and authority behind making disciples, but then he commands us to actually go make disciples. We will know that happens when we see people follow Christ and be obedient in baptism. But how do we actually do that? Verse 20 says, **teaching them to observe all that I have commanded you**. If we think of the Great Commission as a command to share the gospel, and by God's grace see people respond and get baptized, then it becomes easy to say we have accomplished the task at baptism. But that's not what we are commanded to do. We are commanded to make disciples, and while baptism is a key step in that process that shows that heart of a disciple, that is the beginning not the end point of discipleship. Discipleship is a continuous process. The disciples spent three years being taught by Jesus. And his teachings helped them to apply the gospel they came to understand to their lives, as they came to know him better and better. That is what discipleship is. We respond in faith to Jesus Christ, and real faith results in a desire to know him more and more. The more we spend time getting to know him through the studying, and the teaching of God's Word, the more our lives as a child of God resemble our brother, Jesus Christ. That is what everything in our church should be helping people to do on a weekly basis – look like Jesus, be more Christlike, know him more and follow him more closely. So, we offer Sunday School, to tie it into our Constitution and membership covenant, we hold people to meaningful church membership where attendance and participation is important, because we know that the Body of Christ is how God works to encourage each other in our growth to Christlikeness. We ground everything we do on the Word of God for the glory of God, because it is only through the Word of God that we know Jesus more, and come to truly worship God through a life lived as a disciple of Jesus Christ. Making disciples is the job for each one of us. It's not just the Elder's job or the Deacon's job or the Sunday School Teacher's job, it is every Christian's responsibility to be growing as a disciple and helping others to grow as disciples. Those 11 men who were rough fishermen, tax collectors, even a possible political insurgent, turned the world upside down with the message of the gospel, because they were disciples of our Lord Jesus Christ. How are you growing as a disciple? Are you in God's Word on a regular basis? Perhaps one of our Bible study classes could help you understand and apply God's Word, and by that get to know Christ better. Are you making disciples of others? Telling them the good news of the gospel of Jesus Christ, and then encouraging and helping them know Christ better through the Word of God? Don't be discouraged in this process. Christ is the authority and power doing the work of changing us through the Holy Spirit, and as Jesus promises at the very end to his disciples and us, **I am with you always, to the end of the age**. He was making disciples through those 11 men in the first century, and he is making disciples now through his disciples at YIBC. May we be faithful to follow that command and be about the business of making disciples. Let's pray.